女性支援のための新しい法律

『困難な問題を抱える女性への支援に関する法律』が令和６年４月から施行されます。

女性をめぐる課題は生活困窮、性暴力・性犯罪被害、家庭関係破綻など複雑化、多様化、複合化しています。また、コロナ禍によりこうした課題が さらに顕在化したことにより、女性支援のあり方が見直されました。
「女性の福祉」「人権の尊重や擁護」「男女平等」を目的とし、あらゆる女性の生きづらさへの支援を強化し、一人ひとりの状況に応じた最適な支援をしていくものです。

多様な性の在り方への理解

『性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律』が令和５年６月に施行されました。

性的指向とは
…その人の恋愛感情、性的関心がどの性別を対象としているか

ジェンダーアイデンティティとは
…本人が認識する自分自身の性別

性的指向及びジェンダーアイデンティティを理由とする不当な差別がなく、全ての人が互いに人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現が目的とされています。

ファミリーシップ制度について

ファミリーシップとは、パートナーシップにある者の双方または一方と生計を同じくする子と、家族として協力し合う関係をいいます。

吉川市では、性的指向又は性自認に係る性的少数者と、その家族の生きづらさや困難さを軽減していけるように、ファミリーシップ制度を導入することになりました。
パートナーシップを結んだ二人が協力して生活を送る中で、共に生活する子どもを家族として含める仕組みの導入が、全国でも進んできています。

ひとりで悩んでいませんか？

家庭のこと、仕事のこと、夫婦のこと、
交際相手のこと、自分の生き方など…
あなたの力になりたいと思っている人はいます。
ひとりで悩まずに相談してください。
周りの人が悩んでいると感じたら、
話を聴いてみてください。そして、相談窓口があることも教えてあげてください。

女性総合相談（女性が抱える悩み全般）
※予約制

☎ 予約電話 048-982-9458
平日　午前９時～午後５時
原則毎月第２・第４月曜日　午後1時／2時／3時
相談時間各50分
場所　市民交流センターおあしす
　　１階ミーティングルーム

吉川市配偶者暴力相談支援センター（DV相談）

☎ 048-982-5968　平日午前９時～午後５時
月・水・金曜日は女性の専門相談員が応じます。

男性のための電話相談（埼玉県）

☎ 048-601-2175　毎月第１・第３日曜日 午前11時～午後３時
男性の臨床心理士が応じます。
DVのほか男性全般の相談に応じます。

吉川市
発　行／吉川市｜2024年３月発行
お問合せ／市民参加推進課 男女共同参画・文化交流担当
〒342-8501 吉川市きよみ野1-1　電話：048-982-9458　FAX：048-981-5392
メール：shiminsanka2@city.yoshikawa.saitama.jp

女性とスポーツ

～多様性を認め合い誰もが自分らしく生きることができるまち～

特集　WEリーグ理事長 髙田春奈氏 講演会・女子プロサッカー選手 南萌華選手 ビデオメッセージ

はじめに

東京2020オリンピック・パラリンピックは「多様性と調和」をコンセプトに開催され、女子選手参加割合が過去最高となった史上最もジェンダーバランスのとれた大会でした。また、FIFA女子ワールドカップ オーストラリア＆ニュージーランド2023は「多様な性の在り方」を世界中に発信する大会となりました。
このように、スポーツ界においてジェンダー（※１）平等や女性活躍の場が注目される一方で、社会においては未だに多くの課題を抱えているのが現状です。また、持続可能な開発目標SDGsの目標５「ジェンダー平等を実現しよう」という観点からも私たちは現状を知り、今できることを考えていくことが大切です。

※１　今の社会の中では、個人の希望や能力に関係なく「性別」によって、「女はこうあるべき」「男はこうあるべき」というように、生き方や働き方の選択肢や機会が決められてしまうことがあります。このように社会的、文化的なイメージや役割分担により作られた性別を「ジェンダー」と言います。

世界における日本の現状「ジェンダーギャップ指数」

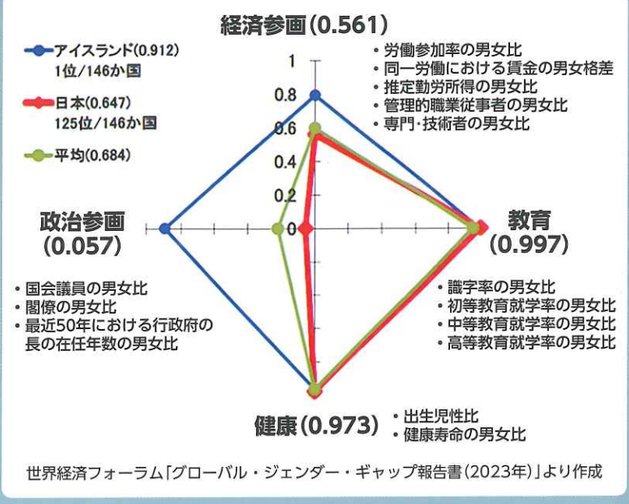
ジェンダーギャップ指数とは2006年から、スイスの非営利財団「世界経済フォーラム」が公表している世界基準の男女平等格差を数値化したものです。
教育・経済・健康・政治の４分野で構成され、男性を「１」としたときに、女性がどれくらいになるかを数値化し、女性の指数が「１」に近づくほど男女平等で、男女の格差がない状態を表しています。
日本における2023年ジェンダーギャップ指数は、前年から後退し、過去最低の結果となりました。先進７カ国中では最下位、また、アジア近隣諸国から見ても、シンガポール（49位）、ベトナム（72位）、韓国（105位）、中国（107位）より下回りました。世界がジェンダー格差の解消へ取り組みを進めている中、日本はそのスピードに追い付けていません。
特に低い順位であったのは政治分野で、その主な要因は女性の政治参加が少ないことでした。そして、次に低い順位の経済分野では、女性管理職が少ないことや男女の賃金格差が課題であることが示されました。

日本は125位
146カ国
（前年から９ランクダウン）
女性の参画が進んでいません！

分野別順位	
政治	138位
経済	123位
健康	59位
教育	47位

順位	国名	指数
1	アイスランド	0.912
2	ノルウェー	0.879
3	フィンランド	0.863
105	韓国	0.680
107	中国	0.678
125	日本	0.647
146	アフガニスタン	0.405

グローバル・ジェンダー・ギャップ指数 2023



世界経済フォーラム「グローバル・ジェンダー・ギャップ報告書(2023年)」より作成

吉川市の取り組み

最近は、スポーツ界においてもジェンダー平等や女性活躍の場が注目され、様々なスポーツシーンで女性の活躍が話題になっています。そこで、令和５年度は「女性とスポーツ」をテーマに取り上げ、啓発事業を実施しました。女子プロサッカーリーグのWEリーグ（※２）は、サッカーを通して、ジェンダーに関する問題の解決や多様性のある社会、女性活躍社会の実現の推進という特徴的な取り組みをしています。そのWEリーグ理事長、髙田春奈氏の講演やと、吉川市出身の女子プロサッカー選手、南萌華選手のメッセージ上映を11月25日、おおしす多目的ホールで行いました。

※２　WEリーグとはWomen Empowerment League の略称。この名称には、日本に「女子プロサッカー選手」という職業が確立され、リーグを核に関わるわたしたちみんな（WE）が主人公として活躍する社会を目指す、という思いが込められています。

.WE LEAGUE

ブランドモチーフの「●」ドットは、「サッカーの躍動感」「新たなつながり」「これからの日本」を表しています。

～WEリーグの理念～

女子サッカー・スポーツを通じて、
夢や生き方の多様性にあふれ、
一人ひとりが輝く
社会の実現・発展に貢献する。

特集 第１部
WEリーグ理事長 髙田春奈氏 講演会

髙田 春奈氏

©WE LEAGUE

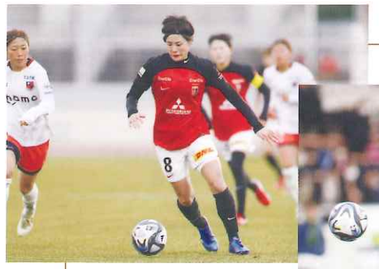
公益社団法人日本女子プロサッカーリーグ（WEリーグ）理事長
長崎県出身。国際基督教大学を卒業後、ソニー入社。主に人事を担当。2005年から人事コンサルティング会社、広告代理店経営を経て、2015年ジャパネットホールディングス取締役に就任。2018年JリーグV・ファーレン長崎の上席執行役員兼務、2020年代表取締役社長に就任。Jリーグ理事（社会連携担当）に就任し、2022年９月よりWEリーグの2代目チェアに就任。現在、JFA副会長、Jリーグ特任理事、全日本大学サッカー連盟理事などを兼任。

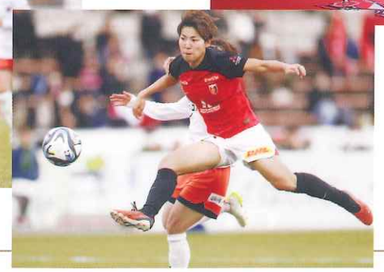
～女性がもっと活躍する社会のために～

髙田春奈氏がWEリーグのチェア（理事長）になった理由

①女子サッカーそのものの成長の可能性を感じました。日本女子サッカーは、FIFAワールドカップにおいて、世界を制覇した経験があり、世界から尊敬され、さらなる可能性を秘めています。
再び世界一を目指し、世界のトップクラスであり続けたいです。

②女子サッカーがもっと注目されることで、素敵な女性が活躍する社会のモデルとなり、より良い社会づくりに貢献できるのではと思いました。
個性的な選手たちが自信と勇気を持って活躍する姿が、女性活躍社会を牽引するロールモデルとなるために、女子サッカーの社会的な位置づけを高めていきたいと思います。





写真提供　WE LEAGUE

～WEリーグの取り組み(一部)～

●リーグ参入基準として

①クラブの運営に女性登用を義務付けている。
※スポーツ組織として日本初の取り組み。
②ホームスタジアムに託児施設設置を義務付けている。
※産後復帰した選手だけではなく、ファン・サポーター、クラブ関係者、運営スタッフなど、WEリーグに関わる全ての人のことを考えたもの。

●WE ACTION DAY

※選手、クラブ、サポートする人々がリーグの理念実現のために行動をする日のこと。
例１）「ジェンダーについて考えよう！」をテーマに「大宮アルディージャVENTUS」の選手と地元の中学生がディスカッションを行った。
例２）「子どもたちの未来に夢や希望を！」と題し「ちふれASエルフェン埼玉」の選手が少女サッカークラブの子どもたちと身体を動かし、多様性や夢について一緒に考えた。

南 萌華（みなみ もえか）選手

特集 第２部
南萌華選手 ビデオメッセージ

南選手動画

吉川市出身。小学生時代に吉川ホワイトシャークサッカースポーツ少年団に所属。2018年のU-20 女子ワールドカップ フランスでは、日本代表の主将として優勝に大きく貢献した。また、FIFA女子ワールドカップに２大会連続（2019年、2023年）、東京 2020オリンピックにおいても日本代表選手として出場し、カナダ戦、イギリス戦にフル出場。準々決勝ではスウェーデンと戦った。2022年７月に三菱重工浦和レッズレディースからイタリアセリエA女子のASローマに移籍。主力としてチームのリーグ優勝に大きく貢献するとともに、イタリアセリエA女子の2022-2023年間ベストイレブンに選出された。また、FIFPRO（国際プロサッカー選手会）が2023年５月に発表した、世界で最も出場時間が長かった女子選手ランキングで堂々の１位を獲得した。

吉川市内の女子サッカーチーム「F-monte」、「吉川Ｌキッカーズ」の子どもたちからの質問に答えていただきました。

南萌華選手への質問

Q 試合前に緊張にないようにするには？

A 私の場合は、ミスすることへの不安が緊張につながっていました。緊張を一人で抱え込まず、チームメイトと気持ちを共有しみんなで乗り越えていくことが大事なことだと思います。

Q 試合前に一番心掛けていることは？

A 試合は、今まで練習で積み重ねてきたものが発揮できる場で、自分の持っている力以上は発揮できません。練習のときから試合と同じ気持ちで取り組むことを心掛けています。

Q 親はサッカーに対してどのように関わっていたか？

A 両親は、大好きなサッカーを好きなだけやらせてくれていました。ここまでサッカーを続けることができたのは、両親のおかげで感謝しています。子どもの性格を一番理解しているのは両親で、その子どもに合わせた接し方が、成長につながるため、子どものことを理解することが重要であると思います。

Q イタリア女子サッカーと日本女子サッカーの違いについて

A イタリアでは女子の選手もプロ意識が高く、プロサッカー選手であることの責任を理解しています。日本人は謙虚で、サッカーをやらせてもらっているという意識がまだ強く見えます。人々に影響力を持つことができることを自覚し、自分たちだからこそできることを考えなければならないとイタリアに来てから思うようになりました。

～南選手からのメッセージ～

『サッカーをする子どもたちへ』

常にサッカーを楽しむ気持ちを忘れないように。その気持ちがサッカー上達の一番の近道だと思います。今後、苦しいこと、辛いこと、様々なネガティブな感情が襲ってくることがあるかと思いますが、チームメイトと一緒に乗り越えて行ってほしいです。サッカーはチームスポーツ。チームメイトと手を取り合いながら一緒に成長することができれば、個人だけではなく、チームとしての力が必ず付くと私は思います。今持っている夢や目標に向かって、サッカーを楽しむことを忘れず、全力で頑張ってほしいです。私は、引き続き自分自身の成長のためにも、サッカーを楽しみながら頑張りたいと思います。一緒に頑張りましょう！

『吉川市のみなさんへ』

いつも温かい応援を本当にありがとうございます。帰国した際、吉川で私を見かけたら声を掛けてください。引き続きイタリアでたくさんトレーニングして成長し、日本の女子サッカーを盛り上げられるように頑張りたいです。日本の女子サッカー選手たちは世界から注目され、称賛されています。絶対に試合を観に行く価値があるので、会場に足を運び応援していただければ私も嬉しく思います。皆さんと一緒に女子サッカーを盛り上げていきたいです。引き続き応援をよろしくお願いします！

写真提供　WE LEAGUE

おわりに

ＷＥリーグは、女子サッカーの競技力の向上だけではなく、社会課題の解決や多様性社会の実現に向けて行動しています。また、サッカー界で女性が活躍していくことが、多種多様な生き方を推進し、女性活躍社会のロールモデルとなることによって、人々を力づけていきたいということがお二人のお話を通じて伝わりました。そして、子どもたちの憧れの存在である南萌華選手からのメッセージは、今サッカーを頑張る子どもたちだけではなく、幅広い世代の人々の心に響くような温かい言葉でした。
吉川市も『多様性を認め合い　誰もが自分らしく生きることができるまち』の実現を目指し、今後も多くの方々に興味を持ってもらえるような取り組みを行っていきます。